

令和 2 年度
小規模多機能型居宅介護 サービス評価

共生ホーム よかあんべ

始良市加治木町反土 2378

電話 0995-62-5820 fax0995-64-3888

<http://www.yokaanbe.com/>

令和 2 年 11 月 2 日～

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月25日(19:30~21:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 黒岩・笠口・那須・尾之上・梶原・鬼丸・岩本・岩下・高木・老谷・中村・川崎・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	0人	2人	11人

前回の改善計画

「ご利用者のご自宅での姿・様子を自分の目で見て知ろう」
 ◎いつ：利用開始後一か月以内 ◎どこで：ご利用者のご自宅
 ◎誰が：スタッフ全員 ◎何を：ご自宅へ訪問しご自宅での姿・様子を
 ◎どのように：訪問してうかがう

前回の改善計画に対する取組み結果

訪問して自宅のご様子や家族の言葉など直接うかがえることが多いスタッフと、よかあんで通いの場としての受け入れ時に関わることが多いスタッフとの情報共有が課題であった。情報の申し送り、何の情報をどこで、誰と共有すべきか？また、自ら情報をキャッチしていこうという意識の問題もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	11	0	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	9	1	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	8	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	7	4	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・新規利用時一か月以内にご自宅に訪問することができた。・ご自宅の生活情報を集めた・申し送りで情報を得た。・通い時の声掛けを積極的に行った。・サービス開始時、笑顔での挨拶を心掛けた。・朝礼、カンファレンス時に情報を共有できた。・その方の不安軽減に努めた。➡これらについて、できているスタッフは「初期支援」の重要性や、ご利用者や家族の不安を察しようとする意識をもっていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・日によって早口になって、腰を下ろしてコミュニケーションができなかった。・なかなか訪問に行けないスタッフへの情報の受け渡しができなかった。・家族や介護者と会って話す機会がなく、本人のニーズもつかめていないことがあった。・初期の情報収集が不十分だった。自らご自宅訪問したいことを打ち合わせられなかった。・本人のニーズに沿ってケアできているのか自信がない。➡次の方のケアや訪問を考えて行動が早くなった。その方や家族と自ら話す機会、時間を作っていない。・そもそも訪問や、家族と会う機会がない。(車の免許がない等も含む)・自ら情報を集めようとする意識が低い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

●その日初めて会ったご利用者へ、手を止めて、目を合わせ、相手の名前を呼んで、挨拶を交わす。
 ●スタッフの自己紹介を写真とともにご家族にも見ていただける場所に掲示し、ご利用者、ご家族に私たちのことを知ってもらおう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月7日 (19:30~21:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 黒岩・荳口・那須・尾之上・梶原・鬼丸・岩本・岩下・高木・老谷・中村・川崎・桃木野・

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	3人	6人	11人

前回の改善計画
 「その人の“～したい”を、リンゴのつぼみ(想い)→果実(実現)で表現し取り組む」
 ◎いつ: その人の声があがった時や自分で感じた時、思った時◎どこで: その時のその場で
 ◎誰が: スタッフ全員が ◎何を: ご利用者の「～したい」を◎どのように: 「～したいの木」のつぼみシートに書いて木に貼り、カンファレンスの場で具体的な計画を立て青りんごシートに記入し実行する。
 達成内容は赤りんごシートに記入し掲示する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 具体的に決めていたが、次のステップに移す場面でスタッフ同士行動に移せなかった。決めたことを行動するためにも、役割、旗振り役、その流れをさらに具体的にする必要があった。ほか、希望や期待、～したいという気持ちを、その人が本当にどう思っているのか? その人の立場に立つ取り組みも必要であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	4	6	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	5	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	5	1	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	3	6	2	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・～したいの木の作成の準備から掲示、スタッフとの共有までできた。・～したいというご利用者の希望の実現に向けてカンファレンスを実施し取り組めた。・外出しての散歩など希望に応じれた。・0氏の～したいという希望を掲げた。➡前回の目標をさらに具体的にして、中心となるスタッフを決めて取り組めた。・0氏の希望を実現するためにカンファレンスを実施し、具体的に話し合った。など実施に向けた行動への旗振り役が存在があった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・ご利用者の話をじっくり聞けていない。・本人自身が～したいと言葉で言えない方の実現ができていない? ・スタッフの視点と言葉で言えない方のニーズが一致しているのか分からない。・声にならない声を聴けていない。・～したいの木を作成したが、スタッフ間のその目的や使い方の共有が不十分。➡ご利用者自身のことを知りたい、知ろうとしていない、その人の立場に立って考えようとしていないことと、その時間の作り方に問題があった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ●～したいの木を活用し、その人の期待、希望、～したいの実現に向けて取り組む(昨年度目標継続)
 ・その人の「～したい」を～したいの木ボードに集め、カンファレンスには本人にも参加していただく。
 ・最初のカンファレンス時に、目的、期限、役割などを決める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月7日(19:30~21:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 黒岩・笠口・那須・尾之上・梶原・鬼丸・岩本・岩下・高木・老谷・中村・川崎・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	1人	7人	11人

前回の改善計画

「その人の暮らしを知るために軒下マップを活用し、情報を整理しよう」
 ◎いつ：カンファレンス開催2週間前から ◎どこで：ご利用者との関りの場で◎誰が：スタッフ全員が
 ◎何を：その人についての情報を◎どのように：A3用紙の情報事前収集シートに付箋で集め、カンファの場で共有し軒下マップを整理する

前回の改善計画に対する取組み結果

・カンファレンスは週に一回開催できていたが、その過程において軒下マップの作製の過程を含めて行動に移せなかった。結果、マップは作成できず、その過程にも関わっていないので、完成形のイメージもスタッフで共有することもできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	8	3	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	9	1	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	7	2	2	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	10	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	8	3	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・その日の本人の状況に応じて情報を共有しケアが行えている。・スタッフが困った時にカンファレンスを開催しケア内容を決めケアを提供できた。・ご利用者に合わせた介助方法がとれた。・ご利用者の変化をB O記録システムに記録することができた。➡本人の状態、状況に応じてケアを考えることはスタッフ全体で根付いていると思う。また、カンファレンスで原因を皆で考えることなど、意識的に行えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・以前の暮らしの情報を10個把握できていない。・軒下マップ自体を知らない。・支援がルーティン化していて、本人に合った支援を考え実行できていない。・このご利用者の以前の暮らしは知っている！このご利用者の以前は知らない！といった差が大きい。・以前の暮らしを知っていても、本人の思いに応えられないものがある。➡軒下マップの意味や目的、イメージ共有できていない。・ご本人の力を信じておらず、こちらがしてあげることがあった。・ご利用者の「今」を見て、過去をみていない。他人任せになっていた。情報共有といいながら記録していない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

●これまでの暮らしは、その人がその人らしく生きるための大切な情報。その人の「これまでの暮らし」「今の暮らし」「本人のこだわり」「その時その時に本人が望むこと」を知った時に「暮ら知るノート」に書き留め、日常生活の支援につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月9日(19:30~21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 黒岩・笠口・那須・尾之上・梶原・鬼丸・岩下・高木・益口・中村・川崎・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	7人	0人	1人	11人

前回の改善計画	
①	クロネコDM投函事業◎いつ:火・木・土曜日のクロネコメール便の配達日◎どこで:よかあんべ・配達エリア◎誰が:朝礼で決めたその日の配達担当スタッフとご利用者◎何を:クロネコメール便を◎どのように:地図を見ながら配達場所を確認し、ご利用者と一緒に徒歩でメール便の配達をする
②	積み木プロジェクト◎いつ:いつでも◎どこで:よかあんべの居間や庭◎誰が:スタッフ全員とご利用者、地域の協力者◎何を、どのように:廃材からつみ木の形に切り、切った木材とやすりをご利用者の目に触れる場所に置き、やすりがけやスタンプ押しをして、100個のつみ木を完成させる
前回の改善計画に対する取組み結果	
①②共に、目的を理解して、ご利用者が地域に出ることを実行することができた。特に仕事として責任あるものであることもそれを後押ししてくれた。積み木も、アイランドホームさんとさらに隼人工業高校さんと協働することで、期日などの目標をもって実行することができた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	3	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	8	3	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	5	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	3	5	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・クロネコDM便をご利用者と共に投函できた。・すれ違う地域の方の「ご苦労様」に喜びを感じれた。・歩けない方でも車いすで取り組めた。・ご利用者の役割を見つけることができた。➡ご利用者が地域に出向く意味「地域から忘れられないように」を責任も伴うことで実行することができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・自分から積極的に地域に出向いて新しい資源を生み出そうとしていない。・ご利用者と仕事以外に外に出ようとしていない。・コロナ禍で外出の機会を作り出しづらかった。・その人につながる地域の関係者を知らない➡本人に対する興味、関心がないのではないか。どんな暮らしをしていたのか?誰とつながっていたのか?いつからここで暮らしていたのか?など考えられた。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●「本人に対する興味・関心をもつ」	・その人の暮らし、その人の暮らす地域を知る ・まず、5名のご利用者に焦点を当てる K・T氏 Y・M氏 T・H氏 S・T氏 I・A氏

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月9日 (19:30~21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 黒岩・笠口・那須・尾之上・梶原・鬼丸・岩下・高木・益口・中村・川崎・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	4人	0人	11人

前回の改善計画	<p>「ご利用者の“良い変化”“ストレングス”に気づこう」</p> <p>◎いつ：週一回のカンファレンスにて ◎どこで：よかあんべ ◎誰が：当日のスタッフが</p> <p>◎なにを：テーマに挙げたご利用者の議題内容に関することを</p> <p>◎どのように：話し合う過程において、必ず本人の強み（ストレングス）や良い変化について視点を向けてBS方法で意見を出す</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・週一回のカンファレンスをケアマネジャーが旗振り役となり実施することができた。が、テーマ設定においてスタッフの共通認識が図れたかは課題が残る。テーマによって、ひもときシート（カンファレンスツール）を用いて、私たちの視点からご利用者の視点に移し替えていくことを意識的に図ることもできた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	3	2	3	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	7	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	9	0	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・週一回のカンファレンス実施ができた。・自分から声をかけて心を開いてもらう関りができた。・その日の状態、変化に応じた支援ができた。➡ケアマネジャーという旗振り役が存在で実施が継続できた。また、そのテーマに応じた準備を検討することができ、ご利用者の立場を大切に考えることができた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・地域とのつながりや、関りの在り方を把握できていない。・カンファレンスで決めた事項を実施継続ができていない。・地域資源の活用や展開についてはチーム内で役割のある方に任せきりになっていた。➡どうやって、そのつながりを知っていけばよいかわからない。・その人が暮らすご近所の方に挨拶に行くことなど遠慮がある。（ご利用者自身が、家族がそれについてどう思っているのか分からないし、気にかかる）・カンファレンスで決めて実行し、改善するとケアを止めてしまったり、いつまですればよいのか評価や決定する過程がない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>●「地域での暮らしの支援で挙げた方5名の方の資源（もの、人、特技等）を、その方の暮らしの中の目標に活かす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その方の地域資源についての情報はカンファレンスで挙げ、共有する ・目標を掲げ、実施したことを振り返る（評価） ・次の展開を検討する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月2日 (19:30~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 黒岩・荳口・那須・尾之上・梶原・鬼丸・岩下・高木・益口・中村・川崎・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	1人	11人

前回の改善計画

「柁城小学校のスクールガードを通して、地域の子供たち地域住民と交流することができる」
 ◎いつ：4月～9月柁城小1年生のスクールガード時 ◎どこで：下校ルート・事業所前交差点
 ◎誰が：朝礼で決めた立哨担当スタッフとご利用者が
 ◎何を：立哨 ◎どのように：交通安全の旗を持ち黄色帽子を被り、元気な挨拶で下校を見守る

前回の改善計画に対する取組み結果

・4月～9月柁城小スクールガードに参加することができた。交差点にも旗を持ち、ご利用者と立哨することができた。地域の方、子供たちとも挨拶を交わし、安全を見守ることができた。反省としては、スタッフが偏ったことであった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	3	1	7	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	1	8	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	3	4	4	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	5	2	3	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・柁城小の子供達と挨拶を交わし、顔見知りにもなれた。・数回、地域のイベントに参加し地域の方と話げできた。・ご利用者と一緒に立哨できた。・ビューティフル作戦を感染対策と規模縮小で開催でき、地域の方と一緒に活動ができた。他、公民会のグランドゴルフ大会、クロネコ投函、よかつどい3B体操、地域サロン、運営推進会議メンバーライングループ設置、つみき作り、運営推進会議でのガウンづくり➡屋外での活動などはコロナ対策も行いながら実行することができた。また、どうしたら継続できるのか？考えることができた。地域の方の前向きな姿勢にも助けられた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・立哨やスクールガード参加はスタッフに偏りがあった。・ご利用者の立哨は毎日とはいかなかった。・コロナ禍もあり、地域行事など参加する機会も少なかった。・担当者に任せることが多く、参加ができなかった。➡コロナ禍もあり、行事自体の機会が少なく、また感染対策として活動を中止することもあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

●みまもりあいプロジェクトを展開する
 ・みまもりあいアプリの導入、ビューティフル作戦、スクールガードなど、ご利用者と一緒に継続し、地域の方に、ご利用者やスタッフの顔と名前を知っていただき、みまもりあいプロジェクトを展開してく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月22日 (19:30~21:00)

7. 運営

メンバー 黒岩・荳口・那須・尾之上・梶原・鬼丸・岩下・高木・益口・中村・川崎・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	1人	0人	11人

前回の改善計画

「会議のルールを理解して練習を積みかさねコミュニケーション能力を高める」
 ◎いつ：事業所内研修・会議・カンファレンス ◎どこで：それらの場面
 ◎誰が：参加者全員 ◎何を：会議の4つのルール
 ◎どのように：参加者全員で会議等のスタートで確認し、4つのルールに基づいて意見を言う、聴く

前回の改善計画に対する取組み結果

カンファレンススタート時に会議の4つのルール（1. 発言前に許可をとる 2. 素直に感情を表現する 3. Iメッセージで発言 4. 相手の考えを積極的に聴く）を毎回確認していなかった。議論が苦手なだけにルールを理解し、継続していくことが大切であると考え。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	4	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	3	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	3	3	11
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	4	2	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・週1回のカンファレンス実施。・ご利用者、ご家族の意見を伝達。・スタッフ間での意見交換。・意見を伝え、意見を聞いた。・全員が意見を出せるように配慮した。・会議のルールを掲示した。➡ケアにあたっているスタッフから日々のケアでの疑問や、困りごと、「もっとこうしたらよくなるのではないか?」という声を上げ、週1回のカンファレンスのテーマとして取り上げ、その日の勤務スタッフでカンファレンスを実施した。全員が発言できるよう、進行するスタッフが声をかけ配慮した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・4つのルールを確認していない。・地域と積極的に関われなかった。・コロナを言い訳にしていた。・会議で8割自分が話していた。・発言せず聞くことが多かった。・参加していないカンファレンスの内容を確認していなかった。・ルールの言葉を理解していない。➡会議のルール確認が徹底されていなかった。会議のルールは確認してもその場だけのことになり、ひとりひとりが自分ごととして理解していない。その日の勤務スタッフのみでカンファレンスを行うためスタッフ間での温度差も出たり共有ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

●目の前のご利用者を支えるため、ご利用者がどうしたかったのか? どうしたいのか? その人の想いに立って、その人の視点で改善策を考える。カンファレンスは週1回定期的に開催し、参加するスタッフは会議のルールを開始前に確認し、ひとりひとりが前向きに積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月8日 (19:30~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 黒岩・荳口・那須・尾之上・梶原・鬼丸・岩下・高木・益口・中村・川崎・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	2人	11人

前回の改善計画
①外部の研修案内が届いたら、当法人研修アドバイザーグループ担当者に提示し、研修案内掲示板に掲示する。参加した研修は参加後に参加しました！掲示板へ掲示しなす。 ②外部研修参加後、一週間以内に研修資料及び報告書を申し送りファイルに綴じ全スタッフが確認しサインする。サイン後は各自で自己成長ファイルに綴じ保管する。◎自己成長プランは互いの目標を共有できるように掲示◎地域小規模連絡会は隔月でスタッフが参加できる
前回の改善計画に対する取組み結果
・研修グループが中心となり、研修案内コーナーを設置し、そこに外部の研修案内を掲示。掲示に目を通すが、「参加」までは自主的に行動するのは難しい方が多かった。スタッフによっては、積極的に自己研鑽に励んでいた。ほか、コロナの影響で予定が不明確な一年でもあった。報告書は提出されたが、共有できていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	8	0	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	2	5	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	9	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	7	2	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・職場内研修、外部研修に参加。・自ら得た研修情報は担当者へ渡した。・掲示板に掲示することと、私たちがこのサービス評価で取り決めた目標もつながらるように合わせて掲示した。・研修後は自己の成長ファイルに綴り保管。・新たに資格取得した。➡興味のある研修、資格取得のために必要な研修を自ら調べて研修に参加できていた。特にコロナ禍ではオンライン研修での単位取得もできたことで、自宅での研修参加もできている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・積極的に参加していない。・職場内研修は参加したが、外部研修は参加できていない。・他のスタッフがどんな外部研修に参加したか内容を把握していない。・報告書の提出期限が遅れた。➡職場外研修の掲示はしたが、自己の年間目標を他のスタッフと共有できなかったこともあり、研修参加の調整ができず、一部のスタッフしか参加できなかった。外部研修参加後の報告会等機会がつけられておらず、スタッフ全員で学びを深めることができなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	●外部研修に参加したスタッフが他のスタッフに研修内容を伝達することで学びを深め、他のスタッフは積極的に学び共有することで、スタッフ全員でスキルアップを目指す。 ・月の職員研修の場で10分間で報告する機会をつくる ・研修に参加していないスタッフにもわかりやすいプレゼンテーションを準備する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月8日(19:30~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 黒岩・荳口・那須・尾之上・梶原・鬼丸・岩下・高木・益口・中村・川崎・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	1人	0人	11人

前回の改善計画	
①靴を脱ぐ：玄関や訪問時、勝手口等どこでも靴を脱ぐときは、履物をきれいに揃えて気持ちを整える ②合言葉「よか」「あんべ」を送る：スタッフが気持ち焦っていると感じた時は、笑顔で相手に「よか」と伝え、伝えられた者は「あんべ」と笑顔で返す	
前回の改善計画に対する取組み結果	
靴を揃える意味を理解し、揃えることで気持ちのリセット、落ち着きが生まれた。合言葉を決めたが、勇気をもって言うことができなかった。ご利用者から「忙しいね」と言われハッとした。というように、自分を立ち止まらせたり、自分を客観視できる術を今後もつくる必要がある。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	3	0	0	11
②	虐待は行われていない	10	1	0	0	11
③	プライバシーが守られている	1	10	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	2	1	4	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	5	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・靴を揃える。・ドアノック。・笑顔で挨拶をする。・深呼吸を意識的にする。・プライバシーに配慮する。・他のスタッフの靴を揃えた。・ゴミに気づいたら拾った。・立ち止まるように張り紙をした。・足元をみて一旦落ち着いた。➡「靴をそろえる」「深呼吸」などの言葉を掲示することでスタッフひとりひとりが行動を意識していた。他スタッフの行動を目にすることで気づかされることも多かった。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・勝手口のスリッパが雑になっていた。・訪問時、靴を揃えること。・合言葉を知らなかった。・気持ちが焦り、笑顔も消えた。・自分のもだが、他の人の靴の並びにも意識がなかった。➡次にやることを考えていた李、ご利用者を待たせている時など気持ちが焦ってしまい、靴を揃えたり笑顔で言葉を交わすことをしていない。年度途中で入職した職員と改善計画を共有していなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	●ご利用者の衛生用品や下着など、人目に触れることがないように配慮して持ち運んだり、室内や脱衣所に置くときにも置き場所に配慮する。 ●「自分だったらこんなことはしてほしくない・言われたくない」という行動や言葉を考え、ご利用者の気持ちになって考えて行動する。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	15	1	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	15	1	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	15	0	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	15	1	0

【上記4つのチェック項目に関する意見】

・サービス評価を読むと事業所が一体となって事業所内外の事について日々努力研鑽されていることがよくわかります。コロナ禍の中、大変な事が多いと思いますが、皆さん一体となって乗り切ってほしい。・がんばりが伝わってきます。・常勤職員は何人ですか？・前回の改善計画に対しての取り組みは項目によって差が大きい。・前回の取り組みを検討され、改善計画が具体的になっている。

【前回の改善計画に対して意見】

・スタッフの立場、役割によって各々の改善計画が必要なのでは？・ただでさえ忙しい職場で「やること」を増すだけでなく「やる時間」を作る工夫を！・「そもそも訪問や家族と会う機会がなかった」という反省は評価方法、目標設定が間違っていないか？・カンファレンスの内容を共有するシステムはどうなっているのか？・研修報告書の意味とその方法を考える。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

・自分たちが立案した目標の手段自体を知らないことは問題ですね。・ご利用者の暮らしを知っているご利用者と知らないご利用者のその差の原因はどこにあるのか？・内容をもっと単純化したり工夫したりが必要なのでは。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

・今回の評価を通じて我々が見えている以上にもっともっと忙しい状況を隠して対応しておられるのだと痛感いたしました。・評価項目がスタッフ全員に当てはまる内容になっていない。立場によって選択できない？・ご利用者をつながりのある関係者を知る手立ての周知はでないのか？・この人のことについてはこのスタッフに！というような担当制はつくれないか？・地域資源というワードに苦手意識がないか？・6の連携協働の評価項目はスタッフ全員向けではない。・9の人権の項目での「なんとかできている」は少数でも利用者、家族は見過ごせない。・スタッフ個人の強みを明確化することが大切。・発言、報告の方法について、匿名性や付箋の活用など簡略化や工夫が必要。

【改善計画】

- ① 1～9の各改善計画とA～Fの改善計画を一つのシートにまとめ見える化することを継続
- ② よかあんべのスタッフグループで各改善計画を担当していくことを検討する。
- ③ 1～9の各改善計画を実行可能なレベルに計画を具体的にしていく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	14	0	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	15	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	14	0	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	13	0	3
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	15	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域の方が入りやすい工夫とあるが、防犯上も入りやすいだけが良いと感じません。
- ・玄関は空きっぱなしですね。コロナ対策で換気という意味合いもでてきた。
- ・臭いなど不快さは感じない。

【前回の改善計画】

・事業所の皆さんはいつも明るく笑顔で応対して下さいますし、忙しそうです。仕事柄我慢も多く、時間も足りず大変だと思いますが、本当によく働いていらっしゃる印象です。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議を公民館で主に行ってきたので、事業所の雰囲気などがわかりにくくなった部分もある。
- ・コロナ禍でさらに事業所内に入りづらくなった現状がある。
- ・以前は外壁も高く、目の前では交通事故も多かったが、今は見通しがよくなった。

【今回の改善計画】※後日記入

- ① 運営推進会議の開催場所を公民館と事業所の庭を活用する。
- ② コロナ禍だからこそ、外で出会った地域の方とマスク越しの挨拶を交わす。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	15	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	15	1	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	15	0	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	14	0	2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	14	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・私の想定以上に有名でした。
- ・切実な悩みがあるときは、よかあんべさんへ聞けば大丈夫という安心がある。件数の問題ではなく、それも大切である。
- ・コロナ禍で挨拶もしにくくなったが、近所の学生さんが元気に挨拶してくださると、身が引き締まる。

【前回の改善計画】

- ・柁城小のスクールガードを継続して行っており、安心がある。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

私は地域の仕事に深く関わるのは初めてでしたが、あちこちでお世話になり感謝しております、今後もお手伝いできる機会があればぜひお声掛けください。

【改善計画】※後日記入

- 6の改善計画を実現する。
- コロナ感染対策を行いながら、実行するにはどうしたらよいかを地域の方と検討していく過程を大切にする。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	16	0	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	13	2	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	12	0	4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	14	1	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	8	0	8

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <p>・花壇の草取りなどをお見掛けします。・運営推進会議にもご利用者が参加されている。・グランドゴルフなども頑張っておられる。・運営推進会議に話題でもあがっているのでご近所の方にも関わっておられると思う。・自治会主催の敬老会でも裸踊りやトランペットなどイベントを盛り上げる活躍は素晴らしいものがある。・利用者本人が萩原自治会に住んでいる人なら地域の方を交えた会議はできていると思う。</p>
<p>【前回の改善計画】</p> <p>・クロネコ DM 便投函は2月で終了になって残念でしたが、ご利用者がハタラクことができて、今後のその可能性を感じる事ができた。</p> <p>・積み木は目標が決まればご利用者と活動が始まり納品もできているので、目標設定が大切であることがわかった。</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p>
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>○始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	16	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	15	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	12	0	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	15	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	15	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・写真等を多用され、理解しやすいです。・地域の心配な方への訪問をされている話を聞いた。・取り組みの説明よりも、「研修」の目的に集まる印象もある。

【前回の改善計画】

・ゴミ拾い大会はコロナの影響もあったが、少人数で開催することができた。
・夕涼み会は、コロナ禍で断念することになったが、運営推進会議でそれを話あった結論であったことが大切だった。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

・運営推進会議でのわかりやすい語りで説明され毎回楽しみにしています。

【改善計画】※後日記入

○運営推進会議において、事業所の防災訓練の計画を一緒に話し合う。
○コロナ禍だからこそ、地域の方と顔を合わせることができるこの会議を、感染対策を実施おこない、つながり続けることができるメッセージとする。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	16	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	11	1	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	9	0	7
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	13	3	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	13	0	3

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <p>・実施した計画が自治会の回覧版でしっかり周知されている。・災害時など高齢者へのアドバイスは大きな効果がある。・運営推進会議の報告の中で防災計画は適切に行われていました。・防災計画はある程度は説明いただきました。・地域の防災訓練への参画は事業所さん独自のものしか知りません。・災害時は事業所の規模にもよりますね。緊急時にこのくらいは対応ができますというようなものの周知がほしい。</p>
<p>【前回の改善計画】</p> <p>・近々に行われた火災訓練への参加をしました。</p>
<p>【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】</p> <p>・本年度はコロナ禍で自治会の防災訓練も実施されなかったもので、参加はなかったですね。</p>
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>○年2回の防災訓練は運営推進会議メンバーとスタッフが協働して取り組めるように、計画する。</p> <p>○緊急避難時に、コロナ感染対策を行いながら受け入れができる体制を検討できる。</p>

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社浪漫	代表者	黒岩尚文	法人・事業所の特徴	① 地域とのつながり（地域交流スペースの解放と活用・自治会への加入と自治会活動への参加・ボランティア） ② 始良市認定「介護の相談 語らい処」の設置 ③ 子ども110番 ④ 始良っ子見守り隊参加 ⑤ 地域行事への参加、朝のゴミ拾い ⑥ ライフサポートプランの導入 ⑦ 認知症の人の、ひもときシートを活用したカンファレンス ⑧ 家族会の実施 ⑨ 社会貢献活動の受け入れ ⑩ 公民館での体操教室の開催（3B 体操等） ⑪ 始良市総合事業住民主体活動実施（蒲生シニア元気クラブ） ⑫ 運営推進会議を毎月、公民館で実施 ⑬ 住民協働のゴミ拾い活動の開催（加治木ビューティフル作戦） ⑭ 国分に同一法人の事業所があり、お互いに連携を図り刺激し合いながら実践を共有し合っている。職員交流も行っている。 ⑮ 企業連携による積み木づくりプロジェクト実施
事業所名	共生ホームよかあんべ	管理者	笠口淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	社会福祉協議会	合計
	0人	0人	9人	0人	0人	1人	3人	12人	3人	28人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	◇9項目の改善計画をさらに実施可能レベルまでスタッフと具体的に計画を立て実施する。 ◇運営推進会議で書面など毎月の活動状況をまとめメンバーと共有する方法を検討し実行する。（コロナ感染対策の影響より）	➡これまでの反省も踏まえ、具体的な行動レベルまで話うことができた。しかし、旗振り役が不在な計画は結果、消極的な動きになっていた。 ➡コロナ禍であったが、文書開催、直接開催を毎月実施することができた。	・サービス評価を読むと事業所が一体となって事業所内外の事について日々努力研鑽されていることがよくわかります。コロナ禍の中、大変な事が多いと思いますが、皆さん一体となって乗り切ってほしい。 ・がんばりが伝わってきます。 ・常勤職員は何人ですか？ ・前回の改善計画に対しての取り組みは項目によって差が大きい。 ・前回の取り組みを検討され、改善計画が具体的になってい	① 1～9の各改善計画とA～Fの改善計画を一つのシートにまとめ見える化することを継続 ② よかあんべのスタッフグループで各改善計画を担当していくことを検討する。 ③ 1～9の各改善計画を実行可能なレベルに計画を具体的にしていく。

			<p>る。・自分たちが立案した目標の手段自体を知らないことは問題ですね。・ご利用者の暮らしを知っているご利用者と知らないご利用者のその差の原因はどこにあるのか？・内容をもっと単純化したり工夫したりが必要なのでは。</p>	
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>◇玄関のお出迎え、見送りをスタッフが笑顔で対応することができる。</p> <p>◇季節の行事や、防災訓練、積み木づくり、ヤマト DM 便投函事業、など地域の方との交流の機会ととらえ一年通して地域の方へお誘いして活動していく。</p>	<p>➡玄関へのお出迎えができていたが、出遅れることもあった。また、他人任せなところもあった。</p> <p>➡コロナの影響で季節の行事の開催に感染対策を講じながら行うことができたことは今後につながる成果だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積み木づくりについては2か所納品することができたが、納品目標を設定しないと動きが止まってしまうこともあった。 ・ヤマト DM 便投函事業は2月の終了までご利用者とスタッフが共に汗を流すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が入りやすい工夫とあるが、防犯上も入りやすいだけが良いと感じません。 ・玄関は空きっぱなしですね。コロナ対策で換気という意味合いもでてきた。 ・臭いなど不快さは感じない。 ・事業所の皆さんはいつも明るく笑顔で対応してくださいますし、忙しそうです。仕事柄我慢も多く、時間も足りず大変だと思いますが、本当によく働いていらっしゃる印象です。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 運営推進会議の開催場所を公民館と事業所の庭を活用する。 ② コロナ禍だからこそ、外で出会った地域の方とマスク越しの挨拶を交わす。
C. 事業所と地域のかかわり	<p>◇6連携協働の改善計画の実施 「柁城小学校のスクールガードを通して、地域の子供たち地域住民と交流することができる」</p> <p>◎いつ：4月～9月柁城小1年生のスクールガード時 ◎どこで：下校ルート・事業所前交差点</p> <p>◎誰が：朝礼で決めた立哨担当スタッフとご利用者が</p> <p>◎何を：立哨 ◎どのように：交通安全の旗を持ち黄色帽子を被り、元気な挨拶で下校を見守る</p>	<p>➡スクールガードについては、ご利用者と一緒に交差点に立つことができた。参加スタッフに偏りが出たことが反省であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私の想定以上に有名でした。 ・切実な悩みがあるときは、よかあんべさんへ聞けば大丈夫という安心がある。件数の問題ではなく、それも大切である。 ・コロナ禍で挨拶もしにくくなったが、近所の学生さんが元気に挨拶してくださると、身が引き締まる。 ・柁城小のスクールガードを継続して行えており、安心がある。 	<p>◎6の改善計画を実現する。</p> <p>◎コロナ感染対策を行いながら、実行するにはどうしたらよいかを地域の方と検討していく過程を大切にする。</p>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>◇地域での暮らしの支援4の改善計画の実施</p> <p>① クロネコDM投函事業◎いつ：火・木・土曜日のクロネコメール便の配達日◎どこで：よかあんべ・配達エリア◎誰が：朝礼で決めたその日の配達担当スタッフとご利用者◎何を：クロネコメール便を◎どのように：地図を見ながら配達場所を確認し、ご利用者と一緒に徒歩でメール便の配達をする</p> <p>積み木プロジェクト◎いつ：いつでも◎どこで：よかあんべの居間や庭 ◎誰が：スタッフ全員とご利用者、地域の協力者 ◎何を、どのように：廃材からつみ木の形に切り、切った木材とやすりをご利用者の目に触れる場所に置き、やすりがけやスタンプ押しをして、100個のつみ木を完成させる</p>	<p>➡クロネコDM便投函事業は2月終了までご利用者が地域に出向き活動することができ、地域の方からも「ご苦労様」と言葉をかけていただいた。</p> <p>➡積み木プロジェクトは九州豪雨災害の被災地や、地域の保育園へ納品することができた。今後の目標を定めてコツコツと取り組めるようにしたい。</p>	<p>・花壇の草取りなどをお見掛けします。・運営推進会議にもご利用者が参加されている。・グランドゴルフなども頑張っておられる。・運営推進会議に話題でもあがっているのでご近所の方にも関わっておられると思う。・自治会主催の敬老会でも裸踊りやトランペットなどイベントを盛り上げる活躍は素晴らしいものがある。・利用者本人が萩原自治会に住んでいる人なら地域の方を交えた会議はできていると思う。</p> <p>・クロネコDM便投函は2月で終了になって残念でしたが、ご利用者がハタラクことができ、今後のその可能性を感じることができた。</p> <p>・積み木は目標が決まればご利用者と活動が始まり納品もできているので、目標設定が大切であることがわかった。</p>	<p>○始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>昨年目標の継続</p> <p>◇加治木ビューティフル作戦や夏祭り等において、地域住民と共に地域住民も主体的に参加できる機会となるよう目的を共有していきける。</p>	<p>➡加治木ビューティフル作戦については、コロナ禍でありながら、地域の方と開催の可能性を感じ、感染対策については専門家の意見もいただき、規模縮小して開催することができたことは大きな成果だった。</p>	<p>・写真等を多用され、理解しやすいです。・地域の心配な方への訪問をされている話を聞いた。・取り組みの説明よりも、「研修」の目的に集まる印象もある。</p> <p>・ゴミ拾い大会はコロナの影響もあったが、少人数で開催することができた。</p> <p>・夕涼み会は、コロナ禍で断念することになったが、運営推進会議でそれを話あった結論であったことが大切だった。</p>	<p>○運営推進会議において、事業所の防災訓練の計画と一緒に話し合う。</p> <p>○コロナ禍だからこそ、地域の方と顔を合わせることができるこの会議を、感染対策を実施おこない、つながり続けることができるメッセージとする。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>昨年の目標の継続 ◇台風や災害は状況を予測しながら、事業所の開放等の情報提供を自治会へ行う。 ◇防災訓練には運営推進会議のメンバーにも参加若しくは立ち会っていただき、意見交換ができる。</p>	<p>➡大きな災害はなかったが、地域の方の避難先として役員の方への連絡を行うことができた。 ➡防災訓練には毎回地域の方へよびかけ、参加していただき、意見交換もできたことが成果だった。今後も継続していきたい。</p>	<p>・実施した計画が自治会の回覧版でしっかり周知されている。 ・災害時など高齢者へのアドバイスは大きな効果がある。 ・運営推進会議の報告の中で防災計画は適切に行われていました。 ・防災計画はある程度は説明いただきました。 ・地域の防災訓練への参画は事業所さん独自のものしか知りません。 ・災害時は事業所の規模にもよりますね。緊急時にこのくらいは対応ができますというようなものの周知がほしい。 ・近々に行われた火災訓練への参加をしました。</p>	<p>○年2回の防災訓練は運営推進会議メンバーとスタッフが協働して取り組めるように、計画する。 ○緊急避難時に、コロナ感染対策を行いながら受け入れができる体制を検討できる。</p>
----------------------------	---	---	---	--